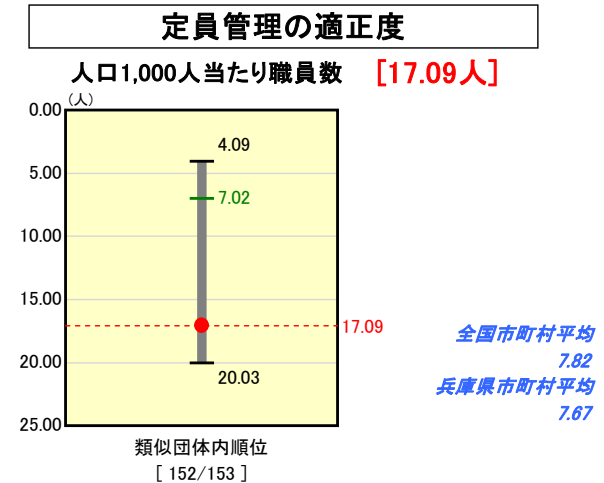
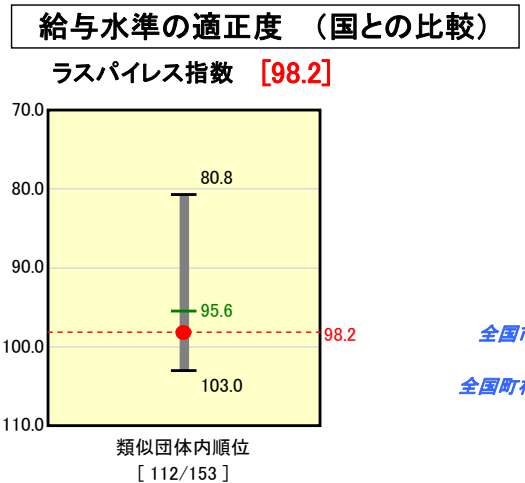
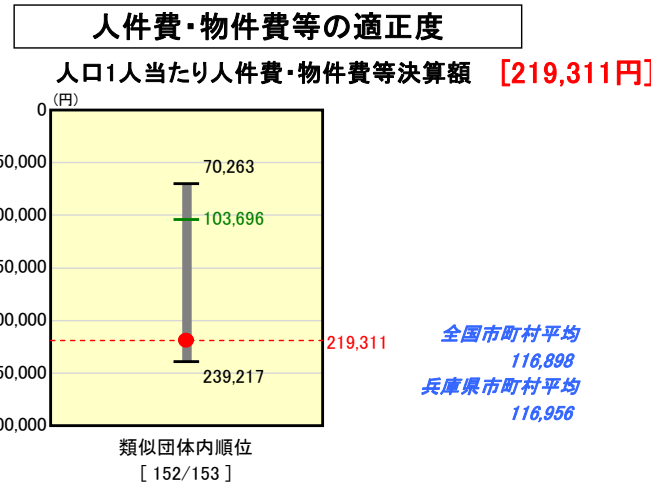
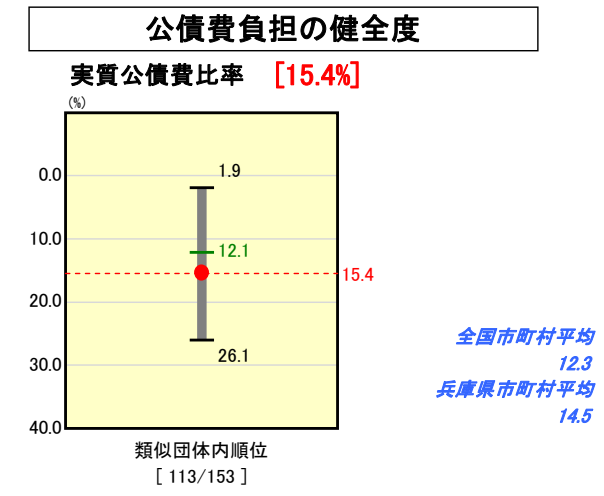
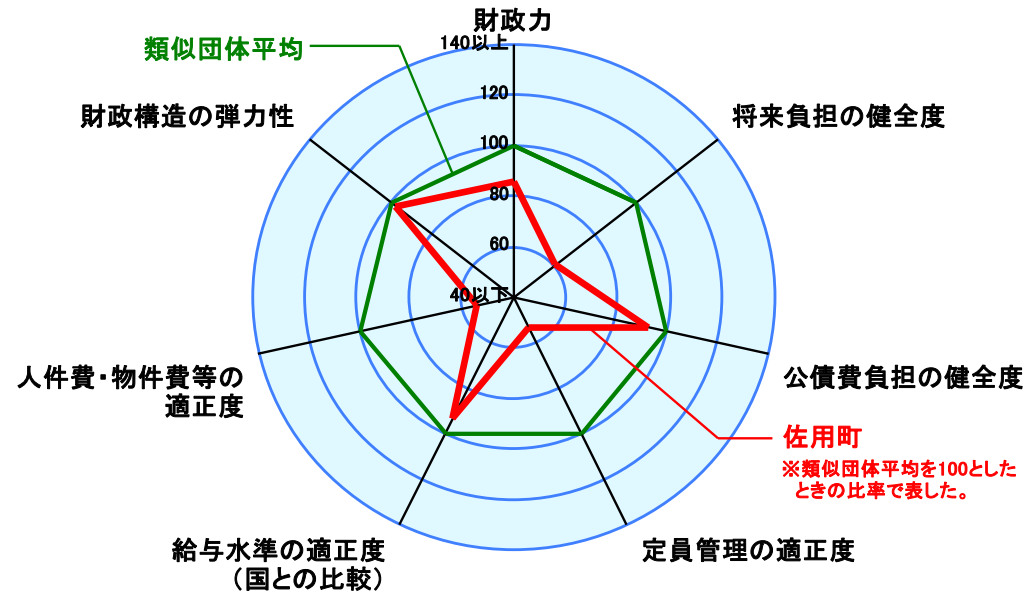
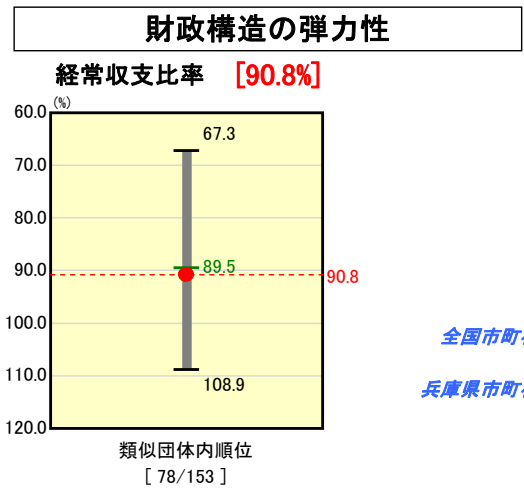
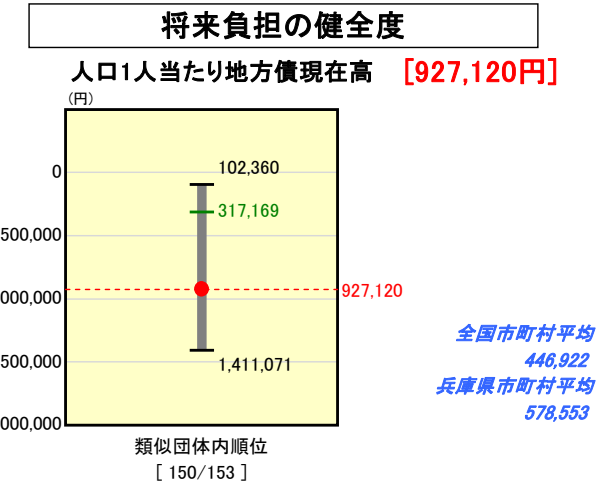
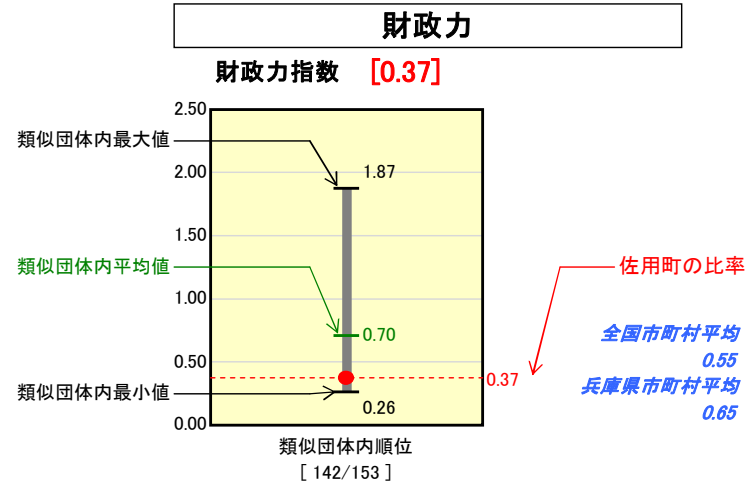


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

兵庫県 佐用町

人口	20,832 人(H20.3.31現在)
面積	307.51 km ²
歳入総額	13,920,916 千円
歳出総額	13,840,197 千円
実質収支	60,491 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(19年度末31.0%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。職員数の純減による人件費の抑制、町税等徴収体制の強化など、行財政改革実施計画(集中改革プラン)に基づいて歳出の削減と財源の確保に努め、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率**
公債費の増加により90.8%と類似団体平均を若干上回っているが、全国市町村平均を下回っている。今後とも定員適正化計画に沿った人件費の削減を着実に実行した上で、物件費などの経常経費の抑制に努め、経常収支比率の一層の改善を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費が要因となっている。佐用町は合併後3年しか経過しておらず、類似団体と比較して職員数が多いこと、また、消防、ごみ・し尿処理、農業共済などの業務を町単独で行っており、一部事務組合で共同処理している団体に比べれば割高であることなどが考えられる。集中改革プランに基づく定員適正化計画により職員数の純減を図っており、一層の人件費削減に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**
地方債現在高は、合併前の旧4町の地方債を引き継いで間がないため、類似団体平均を大きく上回っている。合併後は、新規地方債の発行を抑制し、利率が高い時期に借り入れた学校教育施設整備事業債などの繰上償還を行うなど対策を講じており、今後とも地方債残高の減少に努める。
- 実質公債費比率**
類似団体よりも悪いものの、前年度(16.1%)に比べ実質公債費比率は0.7ポイント改善している。今後においても、新規地方債借入の抑制や繰上償還の効果が現れ、数値は改善の方向で推移するものと見込んでいる。
- 人口1,000人当たり職員数**
平成17年10月1日に町合併し、4町及び2一部事務組合の職員全員を新町が引き継いだため、類似団体平均と比較すると突出して多い。定員適正化計画に基づき、退職者の補充抑制などで職員数の純減に取り組んでおり、適切な定員管理に努める。
- ラスパイレ指数**
類似団体平均よりも悪い状況であるが、平成18年度に給与構造改革(8級制から6級制等)を行っており、今後とも一層の給与の適正化に努める。